

ヨーロッパの農業・工業とロシア

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

ヨーロッパやロシアでは、どんな農業や工業が営まれているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 気候に合わせた農業

農業

こんごうのうぎょう
混合農業

小麦などの穀物や飼料の栽培と、家畜の飼育を組み合わせた農業。

らくのう
酪農

乳牛を飼い、牛乳やチーズ・バターをつくる農業。

ヨーロッパの中部から東部にかけては、小麦などの穀物や飼料の栽培と、豚や牛などの家畜の飼育を組み合わせた**混合農業**が広く行われている。夏も涼しく、穀物が育ちにくい北部や**アルプス山脈**の周辺では、乳牛を飼ってチーズやバターをつくる**酪農**がさかんである。

地中海の沿岸では、乾燥する夏に**オリーブ・ぶどう・オレンジ**などを、雨の多い冬に小麦を育てる**地中海式農業**が行われている。EUは、共通の政策で加盟国の農業を守ってきた。



ヨーロッパの主な農業

北部やアルプス山脈の周辺では酪農、中部から東部では混合農業、地中海の沿岸では地中海式農業が行われている。

2 工業の協力とロシア

工業とロシア

さいせいかのう
再生可能エネルギー

風力や太陽光など、くり返し使え、なくなるエネルギー。

パイプライン

石油や天然ガスを遠くへ送るための管。

EUの国々は、国境をこえて工業でも協力している。**航空機**は、各国でつくった部品をフランスの**トゥールーズ**などに運んで組み立てている。地球温暖化を防ぐため、風力などの**再生可能エネルギー**の利用や、都市の外に車を置いて電車などに乗りかえる**パークアンドライド**も進められている。

ロシアは面積が世界一の国で、ウラル山脈の東には**シベリア**が広がる。石油や**天然ガス**が豊富で、**パイプライン**を通してヨーロッパの国々に輸出してきたが、2022年にロシアがウクライナに侵攻したあと、ヨーロッパの国々はロシアからの輸入を減らしている。

問いへの答え

ヨーロッパでは、気候に合わせて混合農業や酪農、地中海式農業が営まれている。工業では、国境をこえて部品を集めて航空機を組み立てるなど国どうしで協力し、再生可能エネルギーの利用も進めている。面積が世界一のロシアは、石油や天然ガスをパイプラインでヨーロッパへ輸出してきた。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

